

### (3)赤土等流出防止対策

工事中の赤土等流出防止対策は、「赤土等流出防止対策技術指針(案)」(平成7年、沖縄県土木建築部)に基づき、赤土等の流出を防止することを基本として、各種の現場状況に応じ適切な発生源対策を実施する。発生源対策によって抑制された濁水については、地下浸透方式や機械処理方式の濁水処理対策を実施する。

#### ①発生源対策(表土保護工)

表土保護工は、濁水の発生を抑制するために実施するものであり、表土が直接雨滴の落下を受けないように裸地面を覆い、あるいは土の安定度や地下浸透を促進させることによって赤土等の流出を直接くい止める工法であり、表-6.1.1(4)に示す工法を計画する。

表-6.1.1(4) 表土保護工

事業実施区域の施工状況		土地状況	表土保護工
施工エリア	施工ヤード	盛土面	転圧締固
		切土面	シート被覆工
	放置ヤード	盛土面・切土面	土壌団粒化剤散布
	仮置ヤード	盛土面	転圧締固+シート被覆工、土壌団粒化剤散布
施工完了エリア		盛土面・切土面	砂利敷設
現況エリア		裸地・畑地	マルチング
		緑地	(現存植生の残存)

#### ②流出抑制工

流出抑制工は、濁水処理工の処理量を軽減させる目的で設置する工法であり、発生源近傍で表流水の流速を緩和し、侵食の拡大を抑制する「表面流出抑制工」と工事区域外からの雨水混入防止、工事区域内の一時的な濁水の滞留あるいは地下浸透等をする「水路・流出抑制工」に区分される。

表面流出抑制工及び水路・流出抑制工は、表-6.1.1(5)に示す工法を計画する。

表-6.1.1(5) 流出抑制工

事業実施区域の施工状況		土地状況	表面流出抑制工	水路・流出抑制工
施工エリア	施工ヤード	平滑面	—	場内仮設水路
	放置ヤード	平滑面	小堤工(雨水調整池)	—
	仮置ヤード	現況	—	切回水路
計画エリア	外周	現況	—	切回水路+土砂溜樹
現況エリア		緑地・樹林地	(現存植生の残存)	